

4月 月例研修会
奈良の三名椿・寺院・桜巡り

中川 徹

4月2日、戻り寒波とかで前日は小雨、各地に季節外れの積雪が報道される肌寒い日でした。

近鉄奈良駅行基菩薩の噴水前には当日の参加者を含め26名が集まりました。

最初に「武士(もののふ)椿」がある伝香寺に向けて歩いて出発です。手前にある率川神社に立ち寄り10分余りで着きました。残念ながら椿の花は、若くして没した戦国時代の大名筒井順慶の菩提を弔うかのようにほとんど散っていました。

椿の隣のお堂にある秘仏で、毎年7月23日の地蔵会に御開帳され真新しい御衣に着せ替えられる「はだか地蔵」を拝顔して奈良駅前のバス停に戻りました。



ななまるカード所持者は100円のバス料金で白毫寺バス停まで乗り、10分あまりの歩きで高円山の西麓にある寺に着きました。山門にいたる階段を上るにつれて、奈良市内が一望されて見事な景観でした。



樹齢400年の「五色椿」は、赤、白、桃色の花を一本の一枝に付けていました。

本堂で住職の話の話を聞きました。一時は五色椿が弱り、専門家の手助けでやっと回復したことや、白毫寺は海拔200mにあり、風が強く今年の台風で被害を受けたこと、さらに椿とともに萩の花も

美しいことを知りました。

本堂の裏の宝蔵で仏像を拝顔し、昼食の場所である白毫寺の隣の東山緑地公園に移動しました。曇り空に時には小雨が降り、寒い風に薄着で参加した人は震えていました。

公園でほとんど開花していない桜を眺めながらの食事、少しばかりのお酒をいただきました。人気のなかったビールを飲み終え、1時に出発です。



風も強くなり、小雨の中、東大寺の開山堂に向けての移動です。少ないお酒でも気分よくなる人があり、歩みは遅く先頭との距離が開き、行く方向が分からなくて立ち往生する参加者もありました。反省材料です。

途中、春日野国際フォーラムの庭園のカタクリを観察したり、国宝東大寺の鐘楼を見学したり、博学な参加者の解説を聞きやっとな開山堂に着きました。

開山堂は東大寺開山の良弁僧の正座像が安置さ



れており普段は公開されてなく、「糊こぼし椿」は隣の四月堂から堀越しに見るだけ

でしたが、四月堂の基壇に花が展示されていて観賞できました。

最後に法華堂の解説を聞き、現地解散しました。

天候に恵まれず、予定外のコースを回りましたが、会員の知識に驚き、楽しい時間をすごしました。

奈良三名椿観賞と響きがいいですが、伝香寺の椿はもう少し早く、「五色椿」はもう少し暖かい日に観賞しておれば、花の蜜、花粉を求め飛びかうニホンミツバチを観察できたのと思っています。